

【写真部門】 市長賞 松浦 邦夫 さん

「^{しゅつりょう}出漁」

日本各地から、昔ながらの田園風景が消えて行くように、此处、其処に存在した漁村も、僅かになりました。決して豊かさも感じさせず、どこか退廃的な雰囲気の中にも、風土の伝統に根付き、おおらかさ、忍耐や力強さがあります。今、社会では何とかハラスメントなどという言葉で溢れています。何時しかこの国は綺麗という言葉に美しいという意味の外に、潔癖という言葉をも、持たせてしまった。一部の汚点も傷も切り捨てられる。人のチョットした汚点ぐらい、笑って見逃す、許容心と広い心を持ちませんか。潔癖は不寛容に繋がり、不寛容は己の生き辛さに繋がります。人の心も風景も表面的な豊かさでない豊かさこそ、心引かれます。今後も古き懐かしい風景を記録していきたい。